

◇メイクアップの道具

- ・ スポンジ、パフなどは、繊維のきめが細かく品質の良いものを使う。
- ・ 粉のつき方、ばかしやすさ、肌への刺激の少なさ、耐久性など、どの点でもナイロン製より天然毛のほうが優れている。
- ・ ブラシの毛の硬さは、太いものほど柔らかく、細くなるほどコシのあるものを選ぶのが目安である。

◇スキンケア

①クレンジング・・・・・・・・・・肌の汚れを完全に落とすことが目的（オイルタイプのクレンジングを使用すると、肌への負担がかりにくくなる）

○クレンジングの手順

ポイントクレンジング（通常のクレンジングでは落としにくいマスカラや口紅などを落とす）



オイル塗布（クレンジングオイルを塗布。強くこすりすぎないように、コットンを軽くすべらせるようにする）



乳化（クレンジングオイルに水を加えて乳化させることにより肌の汚れが浮き上がってくる）



ふき取り



リクレンジング（一回目の汚れをふいた後、ふき残しの部分の汚れを完全に落とすために、コットンに水を加え、さらに化粧水を適量加えて再度ふき取る）

②化粧水によるトーンニング・・・・・・・・・・肌に水分を与え、毛穴を引き締めることが目的（肌を潤いと張りを与える）

③乳液によるプロテクティング・・・・皮膚の表面に水分の蒸発を防ぐ保護膜をつくるのが目的（皮脂膜のバランスを整え、よいコンディションを保つ）親水性のものを使用

※肌にとって一番良くないのはゴシゴシと強くこすること。

※顔の筋肉の流れに沿って、頬や額や目の周りは中心から外側へ、唇の周りは唇に向かって、ソフトな動きで行うこと。

◇ベースメイクアップ

目的・・・・素肌よりも美しく、自然な感じのつややかな肌に整える為。

- 肌の色調や質感を美しく、肌のキメも整えるため。
- ホコリや風、紫外線や寒さなどの刺激を防ぐ為の薄い皮膜をつくるため。
- シミや傷、ニキビ跡などの軽い欠点を目立たないようにするため。

※ベースメイクアップは、ファンデーションを塗ってパウダーで仕上げるのが一般的である。

（透明感のある仕上がりになり、メイクのくずれも遅くなる。）

◇ファンデーションの種類

		油分	特徴
リキッドタイプ	乳液状	少	皮膚感が自然に見える。厚みをつけにくい
プレストパウダータイプ	パウダータイプの固形	少	手軽に肌を整えることが出来る。厚みをつけにくい
クリームタイプ	クリーム状	やや多	しっかりとした皮膚感をつくる事が出来る。多少の厚みをつけられる
スティックタイプ	油性タイプの固形	多	皮膚の欠点などを目立たせないように補える。重ね塗りで厚みをつけることが出来る
ケーキタイプ	水性タイプの固形		汗に強く、カバー力、耐久力にも富む。多少の厚みをつけられる

◇ファンデーションの塗り方と順序

頬 ⇒ 口の周り ⇒ 鼻の周り ⇒ 額 ⇒ 目の周り ⇒ 首

☆頬は厚めに塗る。鼻の周り、額、まぶた、口の周りは薄めに塗る。首は上から下へぼかす

◇スポンジテクニック

- ブッシュ・・・厚みをつけるために軽く押さえる感じに
- ストローク・・・薄くのばす為に、すべらせる感じに
- パッティング・・・なじませるために、軽いタッチで上からはたくように

◇ハイライト・ローライト・カバーホワイト

- ハイライト・・・顔の骨格のたかくなっている部分に、肌より明るい色のファンデーションをおくことで、明るい色の効果（膨張・前進効果）によってより高さを強調することができる。
- ローライト・・・骨格のくぼんでいる部分や陰として強調したい部分に、肌より暗いファンデーションをおくと、暗い色には収縮・後退効果があるため、よりくぼませたり、狭い印象に見せることができる。
- カバーホワイト・・・まやくすみが目立つ部分に、肌より明るい色をおくと陰やくすみを消せる。しみやソバカスをカバーするのもにも応用できる。

◇パウダリング

パウダリングは、ファンデーションを固定させ、崩れにくくし、肌に透明感を出すために行う。

◇アイメイクアップ

面・・・アイシャドーとカラーアイシャドーのこと

アイシャドーはひとみの色と同系色が基本。影をつけたり、立体感を強調するなど、ベース作り。

カラーアイシャドーは有彩色が基本。色の印象を利用して目元に表情を与える

線・・・アイラインのこと

目の形をはっきりと強調することができる

・ペンシルタイプ ⇒ ラインの太さや濃さを微妙に調節でき、初心者向き

・リキッドタイプ ⇒ クッキリしたラインを描ける。ラインを強調したい場合に使用

立体・・・アイラッシュカーラーとマスカラ

マスカラでまつ毛を長く太く見せ、ボリューム感を与える

・アイラッシュカーラーを使用する場合は、まつ毛の根元・中間・毛先の3段階に変え、徐々に力を抜いてカールさせていくのがポイント

・マスカラは上まつ毛の上側からと下側からの両面につける。（スクリュープブラシ）

上側は多めにつけ、下側は少なめに持ち上げるようにつける。

下まつ毛は、一本一本マスカラをタテにしてつける。

◇アイブロウメイクアップ

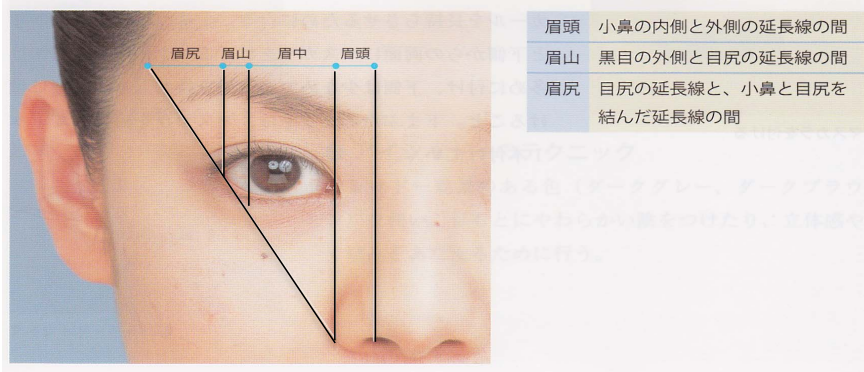
・眉は、顔の印象を左右する重要な役割を果たしている。

細い、薄い⇒ふけ顔に 太すぎる⇒野暮ったい 濃い⇒きつく見える

※眉頭に近い部分は、立体感が損なわれるのでカットしない。眉山から眉尻にかけて余分な毛の厚みをカット。

特に眉尻に近くなるに従って短くカットしていくと、描き足す時に自然

◇アイブロウのバランス



- ・眉の描く順序は ①眉山から眉尻 ②眉中から眉山 ③眉頭から眉中

※アイブロウペンシルは芯の硬いものを選ぶこと。眉を植え込むように描いていけば美しい仕上がりになる。

- ・眉の整え方

眉の余分な部分は剃るよりも抜く方が自然に仕上がる。(トウイザーを使用)

◇アイブロウテクニック

○ドローイング・・・アイブロウペンシルで1本1本描く

○シェーディング・・・ブラウンやグレーなどのアイシャドーで、眉の部分に陰をつけ、眉のボリュームアップと自然な仕上がりをするために行う。

※アイブロウペンシルで直線を描く時は手首を固定し、曲線は手首で円運動を行うようにする。

◇リップメイクアップ

- ・美しい唇のポイント

①左右対称 ②上唇と下唇の厚さが同じ ③上下の口角(唇の端)の厚さが同じ

- ・描き方のポイント

①上唇の山の部分と、下唇の中央部分が同じ厚みになる。
②口角の上下の厚みが同じになる。
③口紅が上唇と下唇の、口角できちんとつながる

◇ブラッシュオンメイクアップ

- ・頬に血色を補ったり、骨格の修正をしたり、くすみをカバーしたりなど、メイク全体のバランスを見ながら行う。

◇まつ毛エクステンション

まつ毛が長く濃く見えるために行うメイクアップ技術である。

- ・自分のまつ毛1本1本に人毛に類似した人工毛(エクステンション)を装着する技術。
- ・「つけまつ毛」は地肌に付けるが、エクステンションは地肌から1~2mmほど離して、まつ毛に装着するものである。
- ・まつ毛エクステンションの持ちは、通常2~3週間であるが、技術の良し悪しやアフターケアの差で違ってくる。

①まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健

まつ毛エクステンションは、刺激に敏感で細菌等病原体の繁殖しやすい粘膜付近に施術を行うので、施術に危険が伴うことを意識して、万全な状態で施術を行わなければならない。

- ・使用する器具、道具や手指の洗浄、消毒をしっかりと行う!

- ・まつ毛エクステンションのトラブル

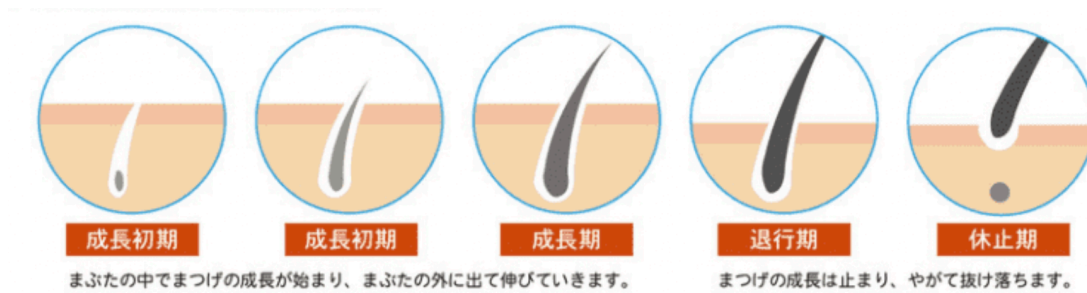
- 初回の施術で発症する場合があります、また施術を重ねていくうちに発症することもある。
- 過去に発症しなかった物質でもかぶれることがある。
- アレルギー性の場合は接触した部位を超えて症状が再現される。
- アレルギー性の場合は両側のまぶたに症状が再現される。
- 刺激性の場合は片側性のこともある。

・まつ毛の毛周期

まつ毛は目を保護するためにあり、上まつ毛は100~150本、下まつ毛はその半数程度といわれる。

まつ毛の毛周期（体毛が生え変わるサイクル）は3週間から4ヶ月と短い。個人差がある。

エクステンションの装着は、成長初期は避け、成長期の終わりから退行期が始まる時期の装着が最適！



・まつ毛エクステンションの道具

道具はお客様ごとに消毒し、清潔に保たなければならない！

・カウンセリング

カウンセリングは、来店前の確認時、施術前、施術後、の3回のカウンセリングをしっかりと行う！

※施術中、施術後に目や目元に違和感があれば、直ちに専門医を受診していただくことは必ず伝える！

○来店前の確認

施術中はアイメイクアップを落として行う

施術中、グルーが乾くまではコンタクトは使用できないので、メガネで来店を勧める

生理中・妊娠中・ブライダル予定などの場合、施術は行わない

当日のカウンセリングの結果によっては、施術ができないことがある

○施術前のカウンセリング

体質・体調に関するカウンセリングを行う（目や目の周辺についてだけのカウンセリングではない）

・特にアレルギーの有無（化粧品・金属・花粉症など）や過去のまつ毛エクステンションの経験や不調を聞く
パッチテスト（違和感があったり異変があれば施術できない）

グルー・・・10本程度均等に両目につけ、2~3日程度様子を見る

テープ・・・実際と同様に貼り付けて20分程度様子を見る

アフターケア

○グルーは、硬化するまでに約24時間かかるため、最低でも5~6時間は洗顔・入浴・サウナなど高温・多湿の環境は避ける

○まつ毛エクステンションやグルーのかたまりが目に入ったままこすると、皮膚・粘膜や眼球が傷つく恐れがあるので、直ちに専門医の診察を受ける。目に入った場合は、絶対にこすらずに流水で洗い流すようにする。

○まつ毛の健康状態、ライフスタイルなどにより持続力には個人差があるが、おおむね2~3週間でリペアが必要になる。

・その他の注意事項

アレルギーは即時型と遅延型がある（アフターケアで説明しておく）

カウンセリングは再来のお客様であってもその都度行う！

リスクなどの事前説明やアフターケアの説明の不足によりトラブルになることもあるので注意